
生きた死神

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

生きた死神

【Nコード】

N65700

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

『死にたい』って伝えて…

(前書き)

人を誘導するのは本当は難しい

「タバコをさ、50本位水につけて置いて、水が茶色く染まったら、その水飲むと死ぬんだってさ」

いつだったか、友人に『もう死にたい』って伝えた時に、そう教えてもらった。

本当に死にたいって思った訳じゃない。ただなんとなく、そう言いたい気分だったんだ。

でもその時、友達は言ってた「死ぬってさ、すげえ汚えんだってよ……。知ってたか？……死んだらよ、筋肉に力が入らなくなるじゃん。じゃあよ、小便とかウンコとか垂れ流しで、鼻水とかよだれも垂れ流しでよ、ものすげえ、汚えらしいぜ」って。

それを聞いた時、『死んだら汚いも何も自分には関係ないじゃん』って思ったっけ。

その友達が昨日死にやがった。交通事故だったよ。学校の先生が言ってた。横断歩道を渡ってる途中に車に跳ねられたらしい……。即死だったらしい。

『糞尿は垂れ流してたんだらうか』何か、俺は冷めた気分で考えた。

そういえばそいつ「お前死ぬ勇氣あんのかあ？」って言ってたな。あいつに教えてやるの忘れてた。『死ぬってのは勇氣いらねえんだ』って。『無心なのさ』ってよ。

まあ、いつか。死んじまったら教える事すら出来ねえし考えんのもやめた。

じゃ今日も元気に学校行くか！また誰かに『もう死にたい』って

伝えて、ネガティブにさせてやる。

また、死んだりして。……まっ、俺には関係ねえか。

(後書き)

死とか闇とかが頭から離れない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6570o/>

生きた死神

2010年11月2日03時35分発行